

令和5年度

国営造成施設緊急整備対策調査  
大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工効果調査業務

# 積 算 書

(当初)

九州農政局  
北部九州土地改良調査管理事務所

事業名	国営造成施設緊急整備対策調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工効果調査業務

相替算數 ( 21 )















事業名	国営造成施設緊急整備対策調査					
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工効果調査業務					
業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工効果調査業務 (設計業務)						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単一 1号 ***					
S02115	主任技師		人		1,000	歩A 当たり算出
	主任技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04003	主任技師	1,000	人	64,800	64,800	
	合 計				64,800	算出数量 1,000 人
	単 価				64,800	
	*** S 単一 2号 ***					
S02115	技師 (A)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (A)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04004 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04004	技師 (A)	1,000	人	57,000	57,000	
	合 計				57,000	算出数量 1,000 人
	単 価				57,000	
	*** S 単一 3号 ***					
S02115	技師 (B)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (B)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04005 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B)	1,000	人	47,200	47,200	
	合 計				47,200	算出数量 1,000 人
	単 価				47,200	
	*** S 単一 4号 ***					
S63003	資料の検討		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	1.00人 1.50人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	1.50人 0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1,000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)	1,500	人	57,000	85,500	
R04005	技師 (B)	1,500	人	47,200	70,800	
	合 計				221,100	算出数量 1,000 式
	単 価		式		221,100	
	*** S 単一 5号 ***					
S63003	斜面部工法検討調査		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	国営造成施設緊急整備対策調査				
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工効果調査業務				
業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工効果調査業務 (設計業務)					
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人			
	3)主任技師の人数	4.00人		深夜時間:0.0	
	4)技師Aの人数	12.00人			
	5)技師Bの人数	8.00人			
	6)技師Cの人数	0.00人			
	7)技術員の人数	0.00人			
R04003	主任技師	4.000	人	64,800	259,200
R04004	技師 (A)	12.000	人	57,000	684,000
R04005	技師 (B)	8.000	人	47,200	377,600
	合 計				1,320,800 1.000 式
	単 価		式		1,320,800
	*** S 単一 6号 ***				
S63003	斜面部目地補修工法検討調査		式		歩A 1.000 式 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人			
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0	
	4)技師Aの人数	15.00人			
	5)技師Bの人数	21.00人			
	6)技師Cの人数	18.00人			
	7)技術員の人数	0.00人			
R04003	主任技師	3.000	人	64,800	194,400
R04004	技師 (A)	15.000	人	57,000	855,000
R04005	技師 (B)	21.000	人	47,200	991,200
R04006	技師 (C)	18.000	人	38,400	691,200
	合 計				2,731,800 1.000 式
	単 価		式		2,731,800
	*** S 単一 7号 ***				
S63003	点検取りまとめ		式		歩A 1.000 式 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人			
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0	
	4)技師Aの人数	2.00人			
	5)技師Bの人数	2.00人			
	6)技師Cの人数	2.00人			
	7)技術員の人数	0.00人			
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800
R04004	技師 (A)	2.000	人	57,000	114,000
R04005	技師 (B)	2.000	人	47,200	94,400
R04006	技師 (C)	2.000	人	38,400	76,800
	合 計				350,000 1.000 式
	単 価		式		350,000
	*** S 単一 8号 ***				
S63007	現地調査		式		歩A 1.000 式 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人			
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0	
	4)技師Aの人数	1.00人			

事業名	国営造成施設緊急整備対策調査					
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工効果調査業務					
業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工効果調査業務 (設計業務)						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A) 外業	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	47,200	47,200	
	合 計				169,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		169,000	
	*** S 単一 9号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回			歩A 1.000 回当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.46			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬季補正:なし	
	日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	1.00人 1.00人				
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	0.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.500日 0.460日				
R04003	主任技師	0.960	人	64,800	62,208	
R04004	技師 (A)	0.960	人	57,000	54,720	
	合 計				116,928	算出数量 1.000 回
	単 価		回		116,928	
	*** S 単一 10号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回			歩A 1.000 回当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.46日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬季補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 中間		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	0.00人 1.00人		深夜時間:0.0		
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	1.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.500日 0.460日				
R04004	技師 (A)	0.960	人	57,000	54,720	
R04005	技師 (B)	0.960	人	47,200	45,312	
	合 計				100,032	算出数量 1.000 回
	単 価		回		100,032	
	*** S 単一 11号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回			歩A 1.000 回当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,, ライトバン,1日,4時			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬季補正:なし	
	間,100km≤ L (100km以上)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員	1人 1人				
	5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	0人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.46日				
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ ライトバン				
	13)高速道路往復料金 (税別) 14)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円 0円				

事業名	国営造成施設緊急整備対策調査					
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工効果調査業務					
業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工効果調査業務 (設計業務)						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	15)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	19)時間区分	4時間				
	20)往復移動距離区分	100km≤L (100km以上)				
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1,000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10,800	L	156	1,685	
	合 計				3,645	算出数量 1,000 回
	単 価		回		3,645	
	*** S 単一 12号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回			歩A 1,000 回 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種、中間、通勤により打合せ、ライトバン、1日、4時間、100km			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	≤ L (100km以上)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬季補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.00日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	ライトバン				
	13)高速道路往復料金 (税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	19)時間区分	4時間				
	20)往復移動距離区分	100km≤L (100km以上)				
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1,000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10,800	L	156	1,685	
	合 計				3,645	算出数量 1,000 回
	単 価		回		3,645	
	*** S 単一 13号 ***					
S63017	旅費交通費 (設計外業宿泊用)		式			歩A 1,000 式 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用) 乙地、ライトバン、0.50日、2日、2時間、なし、100km≤L (100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)宿泊地	乙地		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬季補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)交通機関区分	ライトバン				
	3)高速道路往復料金 (税別)	0円		深夜時間:0.0		
	4)鉄道往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	5)バス往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	6)船舶往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	7)航空往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)ライトバン使用日数	2日				
	10)時間区分	2時間				
	11)補正区分	なし				
	12)技師長外業日数	0,000日				
	13)主任技師外業日数	1,000日				
	14)技師A外業日数	2,000日				
	15)技師B外業日数	2,000日				
	16)技師C外業日数	0,000日				
	17)技術員外業日数	0,000日				
	18)往復移動距離区分	100km≤L (100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2,000	人	1,182	2,364	
P54203	設計用技師 (A) 日当 消費税抜き	2,000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師 (B) 日当 消費税抜き	2,000	人	1,000	2,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地) 消費税抜き (7級相当)	1,000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師 (A) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (6級相当)	1,000	人	8,909	8,909	



令和 5 年度国営造成施設緊急整備対策調査  
大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工効果調査業務

特 別 仕 様 書

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

## 第1章 総 則

### (適用範囲)

#### 第1-1条

令和5年度国営造成施設緊急整備対策調査大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工効果調査業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）、農林水産省農村振興局制定「測量業務共通仕様書」によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

### (目的)

#### 第1-2条

本業務は、国営大野川上流土地改良事業で造成された大蘇ダム浸透抑制対策工の効果調査を行うものである。

### (場所)

#### 第1-3条

本業務において対象とする場所は、熊本県阿蘇郡産山村地内で、別紙位置図に示すとおりである。

### (土地への立入り等)

#### 第1-4条

作業実施のための土地への立入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

### (履行確実性評価の達成状況の確認)

#### 第1-5条

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時までに提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- ①審査項目 a) ~c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- ②審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- ③その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- ④業務成果品のミス、不備等

(一般事項)

第 1-6 条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進歩を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有するものとする。
- (3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第 1-7 条

- 1 管理技術者は、共通仕様書第 1-6 条 第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士、農業水利施設機能総合診断士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりとする。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する 学術部門	－
シビルコンサルティングマネー ジャー	農業土木	－

- 2 予算決算及び会計令第 85 条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

(担当技術者)

第 1-8 条

担当技術者は、共通仕様書第 1-8 条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第 1-9 条

共通仕様書第 1-11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第 1-12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。

なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

(2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

(保険加入)

#### 第 1-10 条

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

### 第 2 章 作業条件

(適用する図書)

#### 第 2-1 条

本業務の基本的事項に関しては、「土地改良事業計画設計基準・設計「ダム（平成 15 年 4 月）」を優先して適用する。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

(設計条件)

#### 第 2-2 条

本業務の対象となる施設の設計諸元は、次のとおりである。

<大蘇ダム>

ダム形式：中心遮水ゾーン型ロックフィルダム

堤高：69.9m

総貯水量：4,300,000 m<sup>3</sup>

有効貯水量：3,890,000 m<sup>3</sup>

設計堆砂量：410,000 m<sup>3</sup>

満水面積：0.275k m<sup>2</sup>

(参考図書)

#### 第 2-3 条

設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第 2-1 条によるほか次表によるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年
①	多目的ダムの建設	(財)ダム技術センター	平成 17 年 6 月

②	建設省河川砂防技術基準(案)	(社)日本河川協会	平成9年10月
③	ダムの管理 例規集	(財)ダム水源地域環境整備センター	平成18年3月
④	解説・河川管理施設等構造令	(社)日本河川協会	平成12年1月

(貸与資料等)

第2-4条

参考資料は次表のとおりである。

分類	資料名	数量
設計関係資料	令和4年度広域農業基盤整備管理調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工調査検討業務報告書	1式
〃	令和5年度広域農業基盤整備管理調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工調査検討業務報告書	1式
〃	令和4年度九州農政局管内国営農業用ダム安全性評価委員会 個別打合せ資料(大蘇ダム)	1式
〃	令和5年度九州農政局管内国営農業用ダム安全性評価委員会 個別打合せ資料(大蘇ダム)	1式
その他	貯水位データ、雨量データ、ダム周辺地下水位データ、貯水池 内吹付法面背面間隙水圧データ	1式

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2-5条

第2-3条、第2-4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、設計作業段階の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

(関連業務)

第2-6条

本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた設計としなければならない。

番号	業務名	業務実施期間 (予定)

①	令和6年度広域農業基盤整備管理調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務（仮称）	令和6年7月～ 令和7年3月
②	令和6年度広域農業基盤整備管理調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制工調査検討業務（仮称）	令和6年7月～ 令和7年3月

### 第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

#### 第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙1【設計作業項目内訳表】及び別紙2【測量作業項目内訳表】に示すものとする。

#### 作業項目表

##### 【設計作業】

作業項目	数量	備考
1. 準備作業	1式	
2. 資料の検討	1式	
3. 斜面部工法検討調査	1式	
4. 斜面部目地補修工法検討調査	1式	
5. 点検取りまとめ	1式	

##### 【測量作業】

作業項目	数量	備考
1. 斜面部工法検討調査（現地施工）	5箇所	
2. 試験施工（目地等補修）	2箇所	

(作業の留意点)

#### 第3-2条

1. 作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-3条、第2-4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする
- (3) 業務履行中において、一部成果物の提出を求めることがあるが、受注者はこれに協力するものとする。

- (4) 共通仕様書第1-11条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないこととする。

(業務写真における黒板情報の電子化)

### 第3-3条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

#### (1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC暗号リスト)」（URL  
「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信性憑確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

#### (2) 機器等の導入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

#### (3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- 1) 受注者は、(1)の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- 2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

- 3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

#### (4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に

URL(<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>)

のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

### (5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

## 第4章 打合せ

### (打合せ)

#### 第4-1条

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ（資料の検討段階）

第3回 中間打合せ（斜面部工法検討段階）

第4回 中間打合せ（斜面部目地補修工試験施工段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

## 第5章 成果物

### (成果物)

#### 第5-1条

成果物を共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

(1) 成果物の電子媒体（CD-RもしくはDVD-R） 正副2部

(2) 成果物の出力 1部（電子媒体の出力（A4）、市販のファイル綴じで可）

### (成果物の提出先)

#### 第5-2条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

熊本県阿蘇郡産山村大字山鹿2084-5（大蘇ダム管理所）

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所 大蘇ダム管理所駐在

## 第6章 契約変更

(契約変更)

### 第6-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (2) 第5-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (3) 第6-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (4) 履行期間の変更が生じた場合。
- (5) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- (6) その他

## 第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

### 第7-1条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙1 【設計作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	備考
1. 準備作業	ダム地点、貯水池内及びダム周辺の地形、地質、観測施設等の状況把握のための現地調査を行う。	
2. 資料の検討	資料等の内容を把握し、作業計画を策定する。	
3. 斜面部工法検討調査		
1) 吸込み要因の推定 (岩盤部)	監督職員が提供する斜面部における浸透抑制対策工のはつり調査(岩盤部)の結果により、吸込み要因の推定を行う。	
2) 補修工法の選定	吸込みが確認された、目地及びひび割れ部の補修(岩盤部)について、補修工法を立案する。	
3) 斜面部工法検討調査 (現地施工施工計画の立案)	吸込みが確認された、目地及びひび割れ部の補修(岩盤部)について、水中及び気中での施工計画(施工方法、施工場所の選定)を立案する。  検討条件： <ul style="list-style-type: none"><li>・背面地山土砂部：水中施工(1箇所想定)</li><li>・背面地山岩盤部：水中施工(2箇所想定)</li><li>・背面地山岩盤部：気中施工(2箇所想定)</li></ul> なお、貯水池上での作業が想定されることから、作業足場として簡易台船8ユニット(1ユニット2.0m×2.0m)、それを牽引する作業船1台の使用を想定する。また、1ヶ所当たりの充填量は、過年度の施工実績を参考に0.1m <sup>3</sup> と想定する。	
4) 斜面部工法検討調査 (現地施工取りまとめ)	目地及びひび割れ部の補修の現地施工結果について、施工状況、日施工量、施工時の課題を整理する。	
4. 斜面部 目地補修工法検討調査	検討条件： ① 土砂部気中施工  補修工法：吸込み箇所周辺における空隙充填工法 注入材料：無収縮モルタル(想定) 調査数量：2箇所(想定) 充填量(想定)：0.1m <sup>3</sup>	
1) 浸透量低減効果の確認	段階的に施工した都度、貯水池全体における浸透量の確認や周辺地山地下水位の確認など、補修工法によ	

作業項目	作業内容	備考
	り浸透量低減効果を確認する。	
2) 試験施工取りまとめ)	目地及びひび割れ部の補修の現地施工結果について、施工状況、日施工量、施工時の課題を整理する。	
5. 点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	

別紙2【測量作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	備考
1. 斜面部工法検討調査		
1) 現地施工	<p>過年度に吸込みが確認された目地部について、目地補修の現地施工を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>背面地山土砂部：水中施工（1箇所想定）</li> <li>背面地山岩盤部：水中施工（2箇所想定）</li> <li>背面地山岩盤部：気中施工（2箇所想定）</li> </ul> <p>なお、貯水池上での作業が想定されることから、作業足場として簡易台船8ユニット（1ユニット 2.0m×2.0m）、それを牽引する作業船1台の使用を想定する。また、1ヶ所当たりの充填量は、過年度の施工実績を参考に 0.1m<sup>3</sup>と想定する。</p>	
2) モニタリング調査	<p>過年度に水中施工及び気中施工による現地施工（空隙充填工）された箇所について、潜水士により浸透（吸込）の有無について、塗料を散布し目視で確認する。</p> <p>浸透（吸込）が確認された場合は、位置及び規模を測定し、動画撮影により状況を記録する。</p> <p>調査箇所は、次のとおりとする。</p> <p>気中施工実施箇所：ダム+400 EL. 663.0m（ひび割れ） ダム+1650 EL. 664.8m（目地） 水中施工実施箇所：ダム+400（EL. 659.6m）（目地）</p>	
2. 試験施工（目地等補修） 1) 補修の実施	<p>過年度の潜水調査で確認された吸込み量が多い地点（10m<sup>3</sup>/日以上）を対象に試験施工を実施し、浸透量の低減効果を確認する。なお、対象部位については、R3吸込み箇所の経過観察の結果を考慮して決定する。（28箇所想定。関連の調査検討業務にて、対象箇所が目詰まりによる閉塞等が確認された場合は変更の可能性あり）</p> <p>また、試験施工方法については、10m<sup>3</sup>/日以上の吸込み量が試算された箇所を基本とし、吸込み規模※1に応じて段階的に施工する。（第1弾：100m<sup>3</sup>/日以上、第2弾：50m<sup>3</sup>/日以上、第3弾：10m<sup>3</sup>/日以上）</p> <p>※1：R3・R5新規調査、R5経過観察調査結果による。</p> <p>施工時における調査条件としては、貯水位 665.0mを想定しているが、現場条件に応じて変更する。</p>	

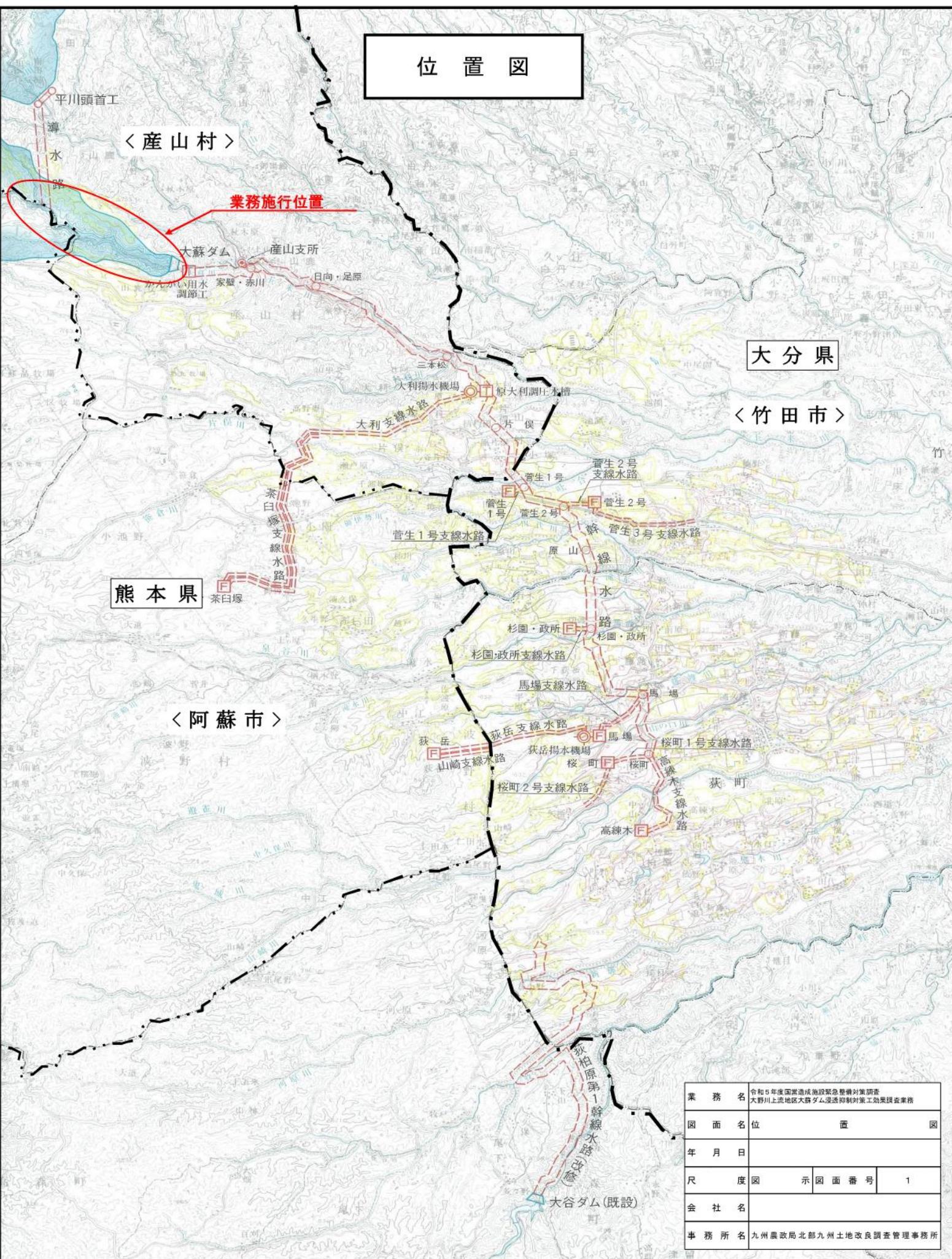
作業項目	作業内容	備考
	なお、貯水池上での作業が想定されることから、作業足場として簡易台船 8 ユニット(1 ユニット 2.0m×2.0m)、それを牽引する作業船 1 台の使用を想定する。また、1ヶ所当たりの充填量は、過年度の施工実績を参考に 0.1m <sup>3</sup> と想定する。	
①土砂部気中施工	補修工法：吸込み箇所周辺における空隙充填工法 注入材料：無収縮モルタル（想定） 調査数量：2 箇所（想定） 充填量（想定）：0.1m <sup>3</sup>	

令和5年度国営造成施設緊急整備対策調査  
大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工効果調査業務

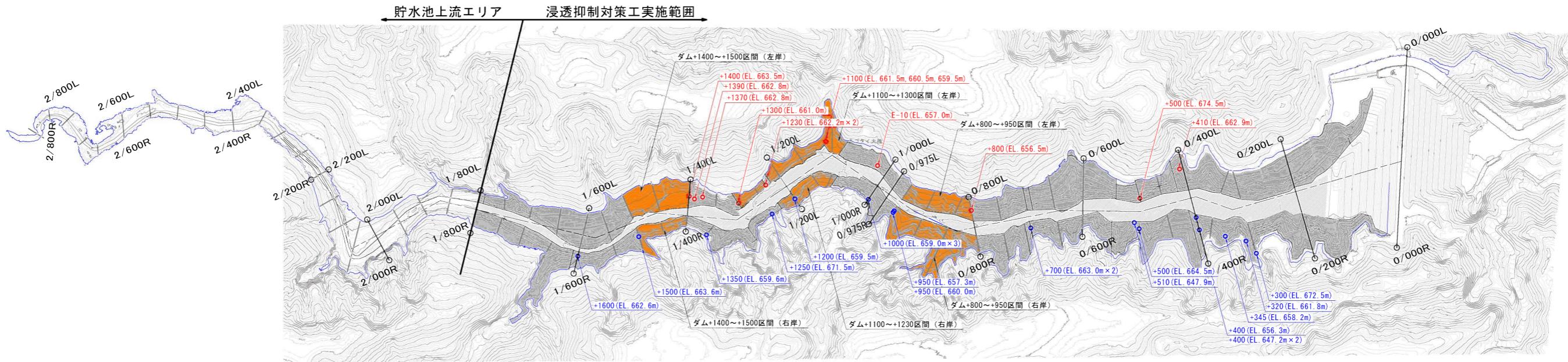
図面目録

番号	図面名称	枚数	備考
1	位置図	1	
2	試験施工参考平面図	1	
計		2	

## 位置図



## 試験施工参考平面図



経過観察調査（左岸）

	吹付部分	測点	吸い込み部位	吸い込み標高(m)	調査時の水位(m)		想定吸い込み量(m³/day)	
					R3年調査時	R5年調査時	R3年調査時	R5年調査時
左岸	コンクリート	410	欠損	662.9	667.9	672.4	345.6	185.1
		500	目地	647.5	674.5	672.4	34.6	0.0
		800	目地	656.5	674.5	672.4	20.5	0.6
		E-10	目地	657.0	675.0	672.3	24.5	13.0
		目地	661.5	674.5	672.3	16.4	1.4	
		1100	目地	660.5	674.5	672.3	16.4	4.0
		目地	659.5	674.5	672.3	16.4	0.0	
		1230	目地	662.2	672.2	672.3	13.0	1.0
		1300	目地	661.0	674.5	672.3	239.2	0.0
		1370	クラック	662.8	667.8	672.2	43.2	0.0
		1390	クラック	662.8	667.8	672.2	34.6	0.0
		モルタル	1400	クラック	663.5	674.5	672.2	13.0

経過観察調査（右岸）

	吹付部分	測点	吸い込み部位	吸い込み標高(m)	調査時の水位(m)		想定吸い込み量(m³/day)	
					R3年調査時	R5年調査時	R3年調査時	R5年調査時
右岸	コンクリート	300	目地	672.5	674.5	672.6	16	0.0
		320	目地	661.8	669.7	672.6	108	0.0
		345	目地	658.2	669.6	672.6	4.3	0.0
		400	目地	656.3	672.3	672.6	13.0	15.2
		400	目地	647.2	672.2	672.6	10.8	0.0
		500	目地	664.5	674.5	672.6	13.0	0.0
		510	目地	647.9	670.9	672.6	16.9	0.0
		700	目地	663.0	673.0	672.6	13.0	0.0
		950	目地	657.3	669.5	672.5	25.9	13.9
		950	目地	660.0	674.5	672.5	20.4	0.0
		1000	目地	659.0	673.0	672.5	13.0	13.0
		1200	クラック	659.0	673.0	672.5	4.3	5.4
モルタル		1250	目地	659.5	674.5	672.5	32.4	1.1
		1350	水抜き孔	659.6	674.6	672.5	86.4	5.3
		1500	クラック	663.6	674.6	672.4	17.0	3.5
		1600	目地	662.6	674.6	672.4	20.7	0.0

業務名	令和5年度国営造成施設緊急整備対策調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工効果調査業務	
図面名	試験施工参考平面図	
作成年月日		
縮尺		
会社名		
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所	